

## 女性研究者研究活動支援事業（一般型）

(実施期間：平成 25～27 年度)

実施機関：一橋大学（総括責任者：蓼沼 宏一）

### プロジェクトの概要

(1)支援室の体制と具体的な活動内容(研究力向上のための取組を含む)

大学院を修了した女性の博士号取得者を研究者として積極的に社会に輩出するとともに、出産・育児・介護期間中の女性研究者等が研究を推進できる環境を整備するため、「女性研究者等支援室」を設置する。支援室には、コーディネーター、研究支援員、事務職員を配置し、活動内容として、①男女共同参画推進体制を強化し、全学的な意識啓発を行う。②女性の大学院生のキャリアパスを支援するため、研究補助、学会での研究発表時の旅費や英文校閲等の支援体制を整備・強化する。③女性研究者等との定期面談を実施し、個別の状況を踏まえた支援プランを提供する。

(2)研究を支援する者の配置計画

出産・育児・介護期間中の女性研究者等に対し、3人の研究支援員を配置して、研究や事務を補助する。

### (1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
A	a	a	b	a	b

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

### (2) 評価コメント

「一橋大学男女共同参画ポリシー」を策定・公表し、男女共同参画に取り組む大学の理念・方針を明確にして、事業に意欲的に取り組み、博士号を取得した女性の大学院生の研究者としてのキャリアパス確立の支援に力点を置いた取組とその成果は評価できる。さらに、学長のリーダーシップの下、女性教員の積極的な採用・登用へ向け、機関全体の意識を醸成し、計 21 名の女性教員の採用、役員等執行部への女性の登用を進めたことは、評価できる。

- ・ **目標達成度**：博士号を取得した女性の大学院生の研究職への就職率、女性研究者の採用比率や在籍比率、ライフイベント中の女性研究者の研究業績に係る所期の目標について、女性教授の在籍比率以外は全て目標を上回り達成しており、評価できる。
- ・ **取組**：アカデミックキャリア形成を支援する講習会の開催をはじめ、女性の大学院生が博士号取得後に研究者としてのキャリア形成を図る上で有効な取組を行ったことは、評価できる。また、若手女性研究者を対象とするメンター制度の構築、国際公募による若手女性教員の採用等、

若手女性研究者の育成を目指した取組も評価できる。さらに、ベビーシッター利用支援、研究支援員制度等により、女性研究者を取り巻く研究環境を整備したことも評価できる。

- **取組の成果：**女性研究者の採用や登用が促進されたこと、ライフイベント中の女性研究者の研究業績が向上したことは、評価できる。しかしながら、女性の大学院生の博士号取得後の研究職への就職率については目標を上回ったものの、女性の博士号取得者数自体は減少しており、今後は、女性教授の在籍比率向上に加え、女性の博士号取得者数の増加を図ることを期待する。
- **実施体制：**学長を本部長とし、全研究科長を本部員とする「男女共同参画推進本部」の下に「男女共同参画推進室」を設置し、理事・副学長を男女共同参画推進室長として、コーディネーターを配置したことにより、機関全体として事業に意欲的に取り組む実施体制が構築されたことは評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性：**実施期間終了後は、実施体制を維持するとともに、大学後援会による「育児支援基金」の設立によりベビーシッターや一時保育の利用料補助の財源を確保する仕組の構築などにより、これまでの全ての取組を継続して実施しているが、女性教員採用比率に係る今後の目標が平均20%以上と、実施期間中の平均26.3%を下回る設定となっており、これまでの取組の成果を継続、発展させる方針となっていない。今後は、機関内の意識改革を更に進め、より意欲的な目標を設定することを期待する。